



山口市

## 報道資料

令和5年12月20日

1 件 名	山口市南部の水の歴史ラリーの開催について
2 日 時	令和5年12月20日（水）～令和6年2月29日（木）
3 場 所	山口市南部地域
4 内 容	<p>山口市の南部地域は、海や川を利用した交通が栄えるとともに、江戸時代には海を陸地にする干拓（開作）が行われ、陸地が広がりました。このことから、海や水に関係する神社や、海上交通や開作、農業用水に関連する歴史文化資源が多くあります。</p> <p>このたび、これらの歴史文化資源をめぐるラリーイベントを開催します。また、応募者の中から抽選で5名様に南部の特産品詰め合わせをプレゼントします。</p> <p>期 間：令和5年12月20日（水）～令和6年2月29日（木）</p> <p>場 所：山口市南部地域（別紙チラシ参照）</p> <p>参加方法：8ヶ所のラリーポイントに設置されたキーワードのうち、3ヶ所分を集め、インターネットまたは応募用紙にキーワード・必要事項を記入して応募。</p> <p>応募者の中から抽選で5名様に南部の特産品詰め合わせをプレゼント。</p> <p>応募用紙：鑄銭司郷土館、阿知須いぐらの館、小郡文化資料館、山口市歴史民俗資料館、道の駅きららあじす、道の駅あいお、南部地域交流センター等</p> <p>応募ボックス：鑄銭司郷土館、阿知須いぐらの館</p>
5 問い合わせ	<p>山口市教育委員会文化財保護課（担当：満瀬<sup>まんせ</sup>・河崎）</p> <p>TEL 083-920-4111 FAX 083-920-4112</p> <p>E-mail <a href="mailto:bunkazai@city.yamaguchi.lg.jp">bunkazai@city.yamaguchi.lg.jp</a></p>

山口の宝発見

# 山口市南部の 水の歴史ラリー

もう  
毛利の殿さまの開作  
&  
海辺のくらし

令和5年12月20日(水)～令和6年2月29日(木)

ポイントを巡ってキーワードをあつめよう！  
8ヶ所のうち3ヶ所をクリアして応募すると  
抽選で5名様に山口市南部の特産品をプレゼント！

嘉川には  
開作地の境界の  
目印の境石があるよ

かわらだに  
河原谷ため池  
(河原谷公園)

あしす  
阿知須いくらの館  
(旧中川家住宅)

応募ボックス

ふじお  
藤尾の渡し  
(藤尾山公園)

周防大橋があるところは、  
昭和のなかごろまでは  
舟で行き来していたんだって

あいおれきし みるぞくしりょうかん  
秋穂歴史民俗資料館  
(秋穂総合支所)

秋穂では、毛利氏が  
カを入れてみんなに作らせていた  
「防長三白」のひとつ、  
塩づくりがさかんだったんだよ

いつくしま  
厳島神社

開作でつくった田んぼに  
使う水を流し入れるために、  
長沢池みたいな池や  
水路を作ったんだって

ながさわいけ  
長沢池  
(鑄銭司郷土館)  
応募ボックス

の範囲は  
海だったところを  
干拓したんじやよ！

しんがいさくさんしんじや  
新開作三神社

な た じ ま し ん が い さ く な ん ぼ ん の  
名田島新開作南蛮樋



インターネット または 応募用紙 を使って応募してね！

このアドレスの応募フォームから応募してね！  
<https://logofrm.jp/form/XCim/430818/>

下の応募用紙に記入して応募ボックスに入れてね！

※応募ボックスは阿知須いくらの館・鑄銭司郷土館に設置しています



主催 / 地域文化財総合活用推進実行委員会 (山口市教育委員会文化財保護課) Tel 083-920-4111

応募用紙 キーワードを3つかいてね

--	--	--

郵便番号

住所

氏名

電話番号

_____
_____
_____
_____

# 山口市南部と水のかかわり

意外と身近なところにある、水にまつわる歴史文化資源を巡ってみよう！



山口市の南部地域は、瀬戸内海に面し、海や川を利用した交通が栄えるとともに、江戸時代には海に堤防を造って水を抜き、陸地にする干拓（開作）が行われ、陸地が広がりました。このことから、海や水に関係する神社や、海上交通や開作、農業用水に関連する歴史文化資源が多くあります。

江戸時代の山口では、干拓のことを開作と呼んでいたんじゃないよ



## もうり 毛利の殿さまの開作

国指定史跡 **な た じ ま し ん が い さ く な ん ぼ ん の 周防灘干拓遺跡 名田島新開作南蛮樋**

安永3年(1774)に完成した開作に関連する史跡です。堤防には4つの樋門が造られています。三挺樋・四挺樋と呼ばれる樋門には、海からの塩水を干拓地に入れないようにするため、昔は仕切り板が付けられており、仕切り板の上げ下げの方法にロクロを使っていたことから、「南蛮樋」と呼ばれています。

山口市名田島

## 海辺のくらし

あじす やかた **阿知須いぐらの館(旧中川家住宅) 応募ボックス**

江戸時代に廻船業（船で荷を運ぶ仕事）で栄えた阿知須浦では、火事から守るために「居蔵造」と呼ばれる瓦葺、漆喰壁の建物が建てられました。いぐらの館は明治17年(1884)に建てられたものです。

※キーワード・応募ボックスは建物入口に設置、休館日時でもご利用いただけます  
山口市阿知須3425 開館時間：10時～16時  
休館日：水・木曜日(祝日の場合は翌日)、12/27～1/4

## さんじんじゃ(しんがいさくさんじんじゃ) 三神社(新開作三神社)

安永3年(1774)に完成した、名田島新開作の干拓地を守る神として祀られた神社です。祭神は、綿津見神・三女神・倉稻魂神です。神社の境内には、安永4年(1775)に、名田島新開作の干拓に携わった当時の藩の役人が寄進して建てた鳥居があります。

山口市秋穂二島721番地

## あい お れ き し み ん ぞ く し り ょ う か ん 秋穂歴史民俗資料館

おもりやたこつぼ等の秋穂地域の漁業の道具や昔の生活用品などを、秋穂総合支所の展示コーナーで展示しています。

山口市秋穂東6570番地  
秋穂総合支所1階 展示コーナー  
開庁時間：8時30分～17時15分  
開庁日：土・日・祝・12/29～1/3

## ながさわいけ 長沢池(鑄銭司郷土館) 応募ボックス

慶安4年(1651)に、地域の役人であった東条九郎右衛門が、農業で使う水を確保するために築いたため池です。

※キーワード・応募ボックスは鑄銭司郷土館の建物入口に設置、休館日時でもご利用いただけます  
山口市鑄銭司11422番地  
開館時間：9時～17時(入館は16時30分まで)  
休館日：月曜(祝日の場合は火曜日以降の平日)、11/27～12/23、12/29～1/3

## ふじ お わ た 藤尾の渡し

周防大橋がかかっているところは、昔人々が舟で行き来していました。「藤尾の渡し」として嘉川の藤尾岬と秋穂二島の幸崎に舟着き場がありましたが、昭和34年(1959)に廃止となりました。周防大橋ができたのは平成4年(1992)のことです。

山口市佐山藤尾  
※キーワードは藤尾山公園に設置  
開園時間：9時～17時 閉園日：12/29～1/3

## かわらだに 河原谷ため池

佐山地区には河川が少なく、農業などに利用する水の確保のために、多くのため池が造られています。江戸時代に平野部の開墾が進んで耕作地が増え、農業用水が必要となったため、河原谷ため池や新堤が造られました。

※キーワードは河原谷公園に設置  
山口市佐山3-4  
開園時間：9時～17時 閉園日：12/29～1/3

## いつくしま 巖島神社

大内氏の時代に安芸国(現在の広島県西部)の巖島神社から神霊を勧請したと伝えられています。「東津」は、「津」と付くように、もともとは港町として栄えていた場所で、海の神様である宗像三女神を主祭神としています。

山口市小郡下郷東津中2372